

令和5年度 札幌若葉幼稚園の自己評価について

「学校教育法施行規則」において、各学校が、自らの教育活動その他の学校運営等について、目指すべき目標を設定し、教職員が、達成状況や達成に向けた取組の適切さ等を自己評価し、その結果を公表することが義務付けられています。

本園においても教職員による自己評価を実施しましたので、その結果をまとめ下記のとおりお知らせいたします。

記

1 本年度の重点目標と達成状況

- ① 教職員一人一人が、自らの職責を自覚し、持てる力を発揮し合い、相互理解と相互信頼のうねに立って協力し、教育の質を高める。

※目標は達成できた。各教諭が担当職責を遂行するとともに、相互に刺激し合いながら教育内容の質の向上、発展につとめた。

- ② 保護者に対し適正な情報を伝えるとともに保護者のニーズ把握に努める。

※目標は達成できた。

- ・ホームページ、ハグノート（連絡アプリ）、園だより、クラスだより、および、学年別カリキュラム等でタイムリーな情報を保護者に伝えた。
- ・園だより、学年別カリキュラム、および、給食だよりは、ホームページで閲覧可能です。

- ③ 園舎等の環境整備

教育環境を改善するため、経年劣化等に伴う園舎などの修繕を実施する。

※目標は達成できた。次の環境整備工事等を実施しました。

- ・園舎 手洗場の床 4箇所 張替
- ・園舎 非常口誘導灯 もも組付近 取替
- ・園舎 消火器 6本 取替
- ・園舎 大型バス車庫 電動シャッターモーター等 取替
- ・園舎 ベランダ 修繕
- ・園舎 灯油ボイラー 修繕
- ・園舎 引込用電源ボックス 取替
- ・園舎 2階小便器 修繕
- ・除雪機 点検・修繕
- ・グラウンド 木柵塀 修繕・塗装

- ・砂場 砂補充、外枠垂木 取替
- ・園舎 玄関ドア 塗装

④ 車両・教材・教具等の環境整備

教育内容の向上をはかるため、車両・教材・教具の新規導入および経年劣化による更改を実施する。

※目標は達成できた。次のとおり教材・教具の新規導入、更改を行った。

新規導入

- ・エアコン 4台（もも組・さくら組・みかん組・職員室）
- ・ミラーレス一眼レフカメラ 1台
- ・絵本 202冊、図鑑 14冊、紙芝居 4組
- ・バス置去り防止装置 3台（大型・中型・小型バス）

経年劣化による更改

- ・園児椅子 年中・年長 35脚
- ・各教室の補助机 8台
- ・電子ピアノ 1台
- ・42型液晶テレビ 1台
- ・職員用ノートパソコン 4台

2 評価項目の達成・取組状況

A：達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった

評価項目	達成状況	反省・課題等
園の教育理念・ 教育目標の理解	A	・園の教育方針に基づき保育をするよう心がけ、伸び伸びと子供たちが成長できるような保育を行った。
指導計画の作成	A	・園児の実態や状況に応じた保育を心がけることができた。 ・コロナ対応を踏まえた指導計画を作成した。 ・月別カリキュラムに沿った週案・日案を立てているが、園児の姿を見ながらその日にあった日案を取組んでる。
環境の構成	A	・丁寧な清掃、消毒を心がけ感染症に気をつけることができた。 ・園児の声を聞きながら、遊びが発展するような環境を構成するようにしている。 ・教室内、廊下、ホール等に季節を感じられるような装飾や園児の作品を展示している。
幼児理解	B	・園児の話をよく聞き、思いを受け止めるようにしている。また、状況に応じて保護者にも連絡を取り、様子を説明している。 ・個々の育ちをしっかりと見極め、必要な援助や配慮が必要だと感じた。 ・時間が足りず、じっくりと話が聞けなかったり、逆に話を聞くことで全体を見られない時がある。
指導とかかわり	A	・子どもそれぞれの個性を認め、その子にあったかかわりをしている。 ・子どもたちの成長過程の身近な存在となるため、言葉づかいは特に気をつけている。 ・園児同士のトラブルがあった際は、互いの話をよく聞くようにし、良い解決法を提案するようにしている。
保育者同士の協力・ 連携	B	・配慮が必要な園児の情報は、会議で全職員が共有し、園全体で見守っていけるようにしている。 ・活動の進め方や子どもとの関わり方に悩んだ際は、同僚や先輩の意見を聞き取り入れている。
保育の楽しみ・喜び	A	・子ども達と沢山の経験や感情を共有することができた。 ・行事を通じて子どもが成長したと感じる時や、子どもと共に楽しい時間を過ごしている時に幸せを感じている。 ・子どもの成長を身近で見られやりがいを感じる。
情報の発信と受信	A	・クラスだより等のほか、ハグノートのアプリを通じて定期的に園での様子を伝えている。 ・できるだけ保護者と直接話し、子どもの様子を伝えるようにしている。

以上